



鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 FAX:0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ

鎌倉市議会

検索

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会



令和8年(2026年) 8月臨時会(8月20日)

令和8年(2026年) 9月定例会(9月2日～10月1日)

令和7年度一般会計決算等を認定

●定例会等の概要

- ・8月臨時会では、議長、副議長の選挙を行いました。
- ・市長提出議案として、専決処分承認議案1件を承認、監査委員の選任議案に同意しました。
- ・9月定例会では、19名の議員が一般質問を行いました。
- ・市長提出議案として、条例関係議案7件、補正予算議案5件、その他議案9件を可決しました。このうち議案第34号と議案第56号については、総務常任委員会の審査期限経過後、本会議で可決しました。
- ・令和7年度一般会計決算ほか5特別会計決算を認定、下水道事業会計に係る剰余金の処分および決算を可決および認定しました。
- ・議員提出議案として、3件を可決しました。このうち、議会議案第5号については、総務常任委員会の審査期限経過後、本会議で可決しました。
- ・請願1件を採択しました。また、陳情4件を採択、13件を不採択としました。

●定例会等の主な動き

8月臨時会／本会議(8/20) …… 議長・副議長等新役員の決定、議案上程、採決(1・6面)
9月定例会／本会議(9/2～4、7～9) …… 一般質問、議案上程、採決(2面～4面、6面)
各常任委員会(9/10、11、14、15、28～30) …… 議案、陳情審査等(5面)
決算特別委員会(9/9、16～18、24、25、29) …… 議案審査(5面)
本会議(9/30、10/1) …… 委員長報告、議案上程、採決(6面)

議会報告会2026を開催します!

申込不要

「秋の収穫まつり・技能祭」に議会報告会のブースを出展します。

お気軽にお越しください

これまで議会報告会は、市役所や支所での対面およびオンラインで開催していましたが、昨年度から新たな取り組みとして、より多くの市民の声をお聴きするため、イベント会場に出展して議会報告会を開催しています。

議会報告につきましては、9月定例会で審査した内容等を報告します。

また、会場内では少人数のグループで、テーマを設けず、皆さまのご意見を議員が直接お聴きします。普段感じていることや思っていることを、ぜひお聴かせください。

【日時】令和8年(2026年)11月29日(日) 10:00～13:00

【会場】山崎浄化センタースポーツ等広場
(鎌倉市山崎354-2)

駐車場



会場内の駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

最寄りの
交通機関



- ・JR「大船駅」徒歩17分
- ・湘南モノレール「富士見町駅」徒歩9分
- ・江ノ電バス「山崎」徒歩1分、「フラワーセンター入口」徒歩2分

会場案内図



※写真は昨年度のものです。
会場の様子の動画は
こちら↓



※荒天等により、
中止になる可能性が
あります。

お問い合わせ(鎌倉市議会事務局)

電話:0467-23-3000 メール:gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp



市議会議長・副議長・監査委員が決定
(詳細は6面へ)



森 功一
副議長

日向 慎吾
議長

上野 学
監査委員

【次回の定例会開会予定日】12月定例会12月2日(水) ※開会予定日は、変更となる場合があります。

かまくら議会だよりは、温室効果ガス排出削減のため、古紙含有率100%の再生紙にCO₂発生を抑制した植物油インキで印刷しています。また、ユニバーサルデザインフォントを採用し、見やすい紙面づくりを行っています。



一 般 質 問

主な質問と答弁

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。9月定例会では19名の議員が一般質問を行いました。
一般質問の全文は、12月上旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

鎌倉山行き路線バス廃止に関して

公明党

児玉 文彦



質問…松尾市長は「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」を謳っているが、この路線バス廃止に対する松尾市長の考えを伺う。
松尾市長…路線バスは市民の日常生活を支える、なくてはならない移動手段。それを維持するためには市としても積極的な支援が必要。仮に路線バスが廃止になった場合には、行政が主体となった代替交通による公共交通の維持について積極的に検討していきたい。今後は地域の実情に即した新たな地域公共交通の導入も含め、「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」を目指し、市民の移動手段が途切れることのないよう、しっかりと取り組んでいく。

その他の質問: 鎌倉市の基金と市債に関して



深沢地区周辺道路整備計画立ち退きについて

公正と法

長嶋 竜弘



質問…深沢地区周辺道路整備計画の短期中期長期の計画を全部やると立ち退きが必要になってくるが、何件立ち退きをすれば計画が完了するのか。
都市政策部長…こちらの周辺整備計画の中で現時点で想定されている立ち退きの対象件数としては、40件というところで今考えております。
質問…40件というのはこの計画の短期中期長期3つ合わせて40件ですか。
同部長…お見込みのとおりでございます。
訂正同部長…40件というのは深沢小学校周辺の道路整備に関する立ち退き件数でございます。総数ということでのご質問でしたので、40件プラスアルファとなります。全体で言うと、未定というところで答弁訂正させていただきます。



性暴力のない学校・地域づくりについて

公明党

水上 武史



質問…すべての教職員を対象に、「生命(いのち)の安全教育」に関する研修を計画的に実施していくべきと考えるが、見解を伺う。
学びみらい部長…毎年、人権教育研修会を実施し、自他を尊重することの大切さや人権に係る正しい知識について学び、「生命(いのち)の安全教育」に関する教員の理解醸成に繋げてまいります。
質問…まずは講座やイベントといった形からでも、地域における「ユースクリニック」的な相談機会を創出すべきと考えるが、見解を伺う。
こどもみらい部長…こども相談窓口きらきらの夜間・土曜の一部を「保健室きらきら」とし、心身の健康や性に関する悩みを抱える中高生などが安心して集い、相談できる場所としていきたい。

その他の質問: 骨粗しょう症検診の導入、中学生へのピロリ菌検診の導入、公共スポーツ施設の料金と減免のあり方について



高校入試における評価のありかたについて

鎌倉前進

大石 香



質問…内申点を十分につけることが難しい不登校や病気など長期欠席の生徒が高校受験において不利益を受けることのないよう、どのような支援を行っているのか伺う。
学びみらい部長…可能な限り生徒本人の学習を評価できるよう、個々の状況に応じた配慮を行っている。本人の申請により、資料の整わない者として取り扱う制度が設けられている。
質問…県教育委員会に公立高校入試における内申点の比重や評価のあり方について、より納得感のある選択ができるよう、見直しや改善を求める提言を行うことはできるか。
教育長…高校入試に日常の学習評価をどのように使うのか、過度な選抜目的にならないようにすることは大事なことでと考えている。今回の指摘と生徒や保護者の声も広く受け止め、我々の声を県に届けていきたい。



青少年指導員について

ゆめみらい

小野田 康成



質問…青少年指導員の高齢化・担い手不足に対する認識について伺う。
こどもみらい部長…青少年指導員は減少傾向にあり、また年齢に偏りが生じているため、子ども達の健全育成を支える地域の担い手の確保に努めていかなければならないと認識している。
質問…高齢化が進む一方、年齢制限を設けると活動の持続可能性が課題となる。委嘱にあたり「自治会推薦枠」と「青少年指導員連絡協議会確認枠」の「2ルート制」もあると思うがどのように考えるか？
同部長…議員からご紹介のあった委嘱方法も含めて青少年指導員連絡協議会とも議論しながら指導員の持続可能性を模索していきたい。

その他の質問: ラジオ体操について(公開放送の誘致にあたって)、指定避難所について(指定数と実際に開設できる数の差異に関して)



不安を解消するための震度計設置について

無所属

重黒木 優平



質問…市内に新たに震度計を設置する場合の費用について伺う。
市民防災部長…設置場所の条件にもよるが、数千万円規模の整備費用に加えて、維持管理・通信費等が必要となってくる。
質問…深沢地域では、液状化の関係や地盤の強さを心配されている方も多いので、安心して頂くために検討してみてはどうか。
市長…しっかりデータを示していくので震度計は考えていない。
質問…各種計画策定に係る外部コンサル費用は令和6年度～令和8年度の3年間合計で2億8232万円である。生成AIを活用し、たたき台を作成すること等で削減はできるのではないか。
総務部長…有効に活用し、費用対効果を精査していく。

その他の質問: 食料品消費税減税に関する市長の考え方、緑むすびカードの費用対効果、交通空白地帯・不便地域への対応など



健康づくり事業、介護員の処遇改善について

公明党

岸本 都美代



質問…膵がんを早期に発見する取組みについて本市の見解を伺う。
健康福祉部長…地域の医療機関と中核病院が連携し、チェックリストを利用した膵がんハイリスク者の早期発見のシステムを作る事は、実現の可能性はある。先行事例を見ながら関係機関とも検討していきたい。
質問…令和6、7年度は、33介護事業所の休止廃止となっている。市はこの現状をどのように把握し必要な支援を進めているか伺う。
同部長…介護従事者の確保は必要不可欠であると考えている。処遇改善は現状の介護報酬では物価高等固定経費への影響も経営を圧迫しており十分な補填となっていないと推測される。実態に則した公定価格の設定の仕組みを国、県に要望したい。



核抑止力の考え/図書館は生涯学習の拠点機関

日本共産党 武野 裕子



質問…核兵器禁止条約参加を政府に求めることと、核抑止力についての市長の考えは？

市長…核禁条約の早期締結を求めるという考えだ。核抑止力論にはくみしない立場だ。

質問…ユネスコは公共図書館について「個人、社会集団の生涯学習の意思決定及び文化的発展のための基礎条件を提供する」と。鎌倉のまちづくりを一人一人の市民が参画してつくり上げていく機関だと思うがいかがか。

市長…市民が主役となるべく様々な情報を得ながらまちづくりに主体的に参加することを支える重要な公共施設である。

その他の質問:「図書館の自由」から導かれる個人情報の保護、公共施設再編計画、司書職員の正規化、市史編さん、文化財などの市の施策



人事制度におけるジェンダー格差の是正について

無所属 藤本 あさこ



質問…市役所の意思決定層の属性が一つの性別に大きく偏っていることを、政策形成・組織運営上のリスクとして捉えているか。

市長…女性の意見を政策に反映できず、女性の視点が欠落するリスクがある。かつ、組織運営上の課題に繋がっていると認識している。

質問…市長として、今後の女性管理職登用施策を、女性本人への意識啓発を中心とした施策から、人事制度そのもののジェンダー格差を可視化し、是正する組織改革へ転換する考えがあるか。

市長…組織側の在り方の改革を目指していくべきであると考えている。実現すべく環境整備を進めていく。

その他の質問:鎌倉市政におけるジェンダー主流化について、女性の就労意識調査について



鎌倉市の社会福祉職の魅力とは!?

立憲 中村 てつや



質問…AIの進歩や業務のDX化が進む中で、鎌倉市は福祉職の重要性をどのように考えているか。

総務部長…福祉ニーズの多様化・困難化が進む中で、専門性を有する福祉職はサービスを提供するうえで重要な役割だと思う。

質問…鎌倉市で福祉職として働く魅力は、どのような点にあるか。

健康福祉部長…「鎌倉市共生社会の実現を目指す条例」を元に、誰もが安心して住みやすいまちづくりに貢献ができ、職員同士が話せる場や研修環境を整えており、安心して専門性を発揮できる。

こどもみらい部長…こどもと家庭に「切れ目のない支援」を行い、鎌倉の未来を担うこどもとその家庭を支えることが魅力と考える。

その他の質問:公立小中学校に通う児童生徒の交通費について、「女性」が何でも相談できる窓口について



認知症対策について

無所属 細川 まなか



質問…本市の認知症を取り巻く現状をどのように捉えているか。

健康福祉部長…国の令和4年度の推計では高齢者の約3.6人に一人が認知症または軽度認知障害であり、本市では約1万4800人と推計される。高齢者数の増加に伴い認知症の方も増加すると想定される。

質問…本市の徘徊高齢者SOSネットワーク事業は、家族が認知症高齢者の情報を市に登録し、行方不明時に家族の要請に応じて市が協力機関にFAXで捜索の協力を依頼している。他市では行方不明者の写真や情報を掲載した市HPのURLを公式LINEで流し、広く市民に捜索を呼び掛けているが、同様の取り組みが本市でもできないか。

同部長…個人情報取り扱い等、法的な整理を行い、検討を進めたい。

その他の質問:夏休み期間中の子どもの居場所について、災害時におけるペットの避難について、市内の移動手段について



玉縄青少年会館の建て替えとふるさと納税

立憲 岡田 かずのり



質問…玉縄青少年会館の2階利用の取り組みはどうか。

こどもみらい部長…照明や空調修繕は調整に時間を要している。

質問…玉縄青少年会館の建て替えを検討すべきではないか。

同部長…建て替えも含めた対策について地域や利用者の声を聞き早急に検討を進めていく。

質問…令和7年度におけるふるさと納税は、約7500万円の黒字だが過去には赤字の年度もある。引き続き頑張ってもらいたい。

文化観光部長…令和8年度からは、産業課がふるさと納税を所管している。市内事業者との繋がりを生かして、魅力的な返礼品の採用を行い、寄附額の増加に努めていく。

その他の質問:①大船駅周辺まちづくり②市庁舎等整備事業③旧前田家住宅保存④汚水改築事業西部圧送管



介護職員に対するハラスメントに対策を

ゆめみらい 前川 綾子



質問…介護現場での介護職が受けるハラスメントに対策は必要か。

健康福祉部長…介護事業の安定的な運営のためにも、事業者だけに任せるのではなく市として取り組む必要があると考えている。

質問…ハラスメントに関する情報共有や、対応策検討のためにプロジェクトチームを設置してはいかがか。

同部長…既存の協議体を利用して集まり、課題の認識を共有する。

質問…ハラスメントを防ぐには地域の理解、土壌づくりが必要だが。

市長…現場の安全・安心は重要である。不当な要求や迷惑行為を許さないという社会全体の意識を啓発し、条例制定も含めた包括的ハラスメント対策を考えて行きたい。

その他の質問:鎌倉市学校・警察連絡協議会について、SNSの使い方など学校と警察が連携した取り組みについて



伝統工芸品「鎌倉彫」の振興支援について

鎌倉前進 加藤 千華



質問…今年11月7～9日開催の神奈川県初・国内最大級の伝統工芸品イベント「KOUGEI EXPO」は鎌倉彫振興の契機と捉えている。職人の方や神奈川県職員と意見交換をする中で、マーケティング調査・販路拡大や補助金の活用等への伴走支援も一定程度必要なのではないかと考えるに至ったが、市としての取組み状況と方針を伺う。

文化観光部長…イベント会場では国内外のバイヤーを対象とした商談ブースを設け、販路拡大を図る予定である。イベント終了後も組合への支援を検討・継続していく。

その他の質問:中長期財政計画策定、AED普及啓発や防災訓練含む減災・防災対策、その他観光・未病・環境政策について



民泊について

公正と法 津野 てるひさ



質問…観光庁からの通知で0日規制、ICT環境を義務付ける事が出来るとする通知が発布された。これを踏まえ鎌倉市はどのように対応していくのか。

政策部長…市も民泊の規制について県条例で規定するよう要望している。国からの通知を参考としつつ、引き続き鎌倉市の状況に沿った規制を設けるよう、県に要望していく。

質問…新聞記事によると東京都新宿区での民泊を規制する条例が制定されるとあった。鎌倉市でも同じような対応ができないか。

同部長…新宿区は区として規制条例を設けることができるが、同じように本市で条例を設けることはできないため、県条例で規制するよう、引き続き県に要望し、協議していく。

その他の質問:関谷流鎗馬教場とスポーツ施設に関して、災害対策について



世界遺産登録と不祥事について

公正と法

中澤 克之



質問…ユネスコ大使に世界遺産登録の協力をお願いしているが、鎌倉市として世界遺産登録を再度目指すのか。

市長…「禅」を切り口とした無形文化遺産も含め検討していく。

質問…市立小学校で教師が児童に暴行したことがあったと聞いているが事実か。

教育長…事実関係を確認し、県に報告。県で処分を検討している。

質問…永福寺跡の整備が止まっているが、今後の整備・維持管理はどうするのか。

教育文化財部長…公有地化が終わっていないが、今後整備・管理計画に基づいて進めていきます。

その他の質問:1.市長の政治姿勢等について、1.鎌倉市の契約等について、1.いじめ、ひきこもり等について、1.下水道等について、1.公共施設整備等について、1.不祥事等について、1.防災等について



市役所移転問題について

日本共産党

吉岡 和江



質問…位置条例が通らないと昨年「両輪体制」に方針転換。今回は物価高騰で公設公営から民設民営にする。検討会議では委員が「民設民営は簡単でない」と言っている。

市長…物価高騰で様々な工事が止まっているのは認識している。公設公営で費用が倍以上かかる。民設民営手法で税負担をなるべく抑えながら大災害に強いまちづくりにしていく。

質問…検討会議では成功した事例があるというが、失敗している事例もいっぱいあることではないか。まず立ち止まり、現庁舎を長寿命し、市民に意見を聞いて進めるべき。立ち止まる勇気が必要。

市長…検討会議で安全な庁舎整備を早期に実現する為取り組む

その他の質問:①村岡新駅と深沢まちづくり②社会福祉法等の一部改正③健康づくりと加齢性難聴対策



バス減便・異常気象・有事対策について

無所属

松中 健治



質問…バス減便対策について、江ノ電バスと鎌倉山バス路線開設に市長は全力で努力すべき。

市長…江ノ電バスはこれまでも京浜急行バスの路線を引き継ぐ、ありがたい役割を担っていただいております、しっかり交渉していきたい。

質問…線状降水帯、内水氾濫が多発している異常気象対策について、想定外の想定を考えるべき。

市民防災部長…近年の気象災害は想定を超える場合もあり、市民等に防災気象情報を迅速に情報提供するよう努めている。また、平時から災害リスク等を確認していただくことが重要である。

質問…戦争兵器の変革でドローンやミサイルが使用され、国では市町村にシェルター設置を急ぐよう決めた。鎌倉市も準備を。

同部長…避難施設の確保は、引き続き国や県との連携に努めていく。



地域のウェルネスの推進について

鎌倉前進

岡崎 修也



質問…深沢の新庁舎整備は、民設民営による複合型施設として整備する方針であるが、現在行われている有識者検討会議での検討範囲は整備の手法の域を越えていると考える。地域のウェルネスの実現のためにも、行政区域やその周辺をどのような場所にし、どのような施設を整備していくかは市長自身が具体的に示し、検討会議では計画の実現可能性や手法が有識者によって検討されるべきではないか。

市長…どこまでの具体性を示すべきなのかの認識に違いがあるかもしれないが、総合体育館、グラウンド、庁舎、図書館、消防本部を前提としつつ、具体的な整備手法は有識者検討会議で審議していただく。

その他の質問:医療費・給付費の現状と推移と医療費抑制と効果測定(KDB・地域連携)について、健康無関心層への行動変容について



請 願 ・ 陳 情 の 議 決 結 果

【採択した請願および陳情】

◆請願第1号 京急バス鎌倉駅・鎌倉山路線の廃止に伴う地域公共交通の確保についての請願書

建設常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆陳情第28号 保育園におけるティッシュペーパー・ビニール袋の持参方法の見直しについての陳情

教育子ども常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆陳情第29号 他自治体の保育実践を鎌倉市立保育園の改善につなげる仕組みづくりについての陳情

教育子ども常任委員会、本会議ともに多数の賛成により採択しました。

◆陳情第68号 学校給食を恒常的に喫食しない児童への食費支援についての陳情

教育子ども常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

◆陳情第70号 学びの多様化学校「由比ガ浜中学校」の入学選考における不透明性及び公立中学校としての選抜の是正を求める陳情

教育子ども常任委員会、本会議ともに多数の賛成により採択しました。

【不採択とした陳情】

◆陳情第36号 自転車政策の早期導入についての陳情

建設常任委員会、本会議ともに少数の賛成により不採択としました。

◆陳情第38号 鎌倉市役所本庁舎に喫食環境を求める陳情

建設常任委員会、本会議ともに挙手なしにより不採択としました。

◆陳情第40号 新型コロナワクチン接種中止についての陳情

観光厚生常任委員会、本会議ともに少数の賛成により不採択としました。

◆陳情第41号 HPVワクチン含めたワクチン禁止についての陳情

観光厚生常任委員会、本会議ともに挙手なしにより不採択としました。

◆陳情第42号 マスクについてのデメリット、安全性PRについての陳情

観光厚生常任委員会、本会議ともに挙手なしにより不採択としました。

◆陳情第44号 鎌倉市役所、深沢との両輪、民間資本計画中止についての陳情

建設常任委員会、本会議ともに少数の賛成により不採択としました。

◆陳情第46号 深沢地域の開発方向性についての陳情

建設常任委員会、本会議ともに挙手なしにより不採択としました。

◆陳情第53号 ゴミ箱設置についての陳情

観光厚生常任委員会、本会議ともに挙手なしにより不採択としました。

◆陳情第54号 有料ゴミ袋廃止についての陳情

観光厚生常任委員会、本会議ともに少数の賛成により不採択としました。

◆陳情第56号 江の電107、整備と屋根設置についての陳情

建設常任委員会、本会議ともに少数の賛成により不採択としました。

◆陳情第61号 大船駅道路との立体交差化についての陳情

建設常任委員会、本会議ともに少数の賛成により不採択としました。

◆陳情第65号 鎌倉駅西口時計台大屋根設置についての陳情

建設常任委員会、本会議ともに挙手なしにより不採択としました。

◆陳情第66号 鎌倉市役所駐輪システムについての陳情

建設常任委員会、本会議ともに挙手なしにより不採択としました。

可 決 し た 意 見 書

● 介護保険サービス及び障害福祉サービスに係る地域区分の現行維持を求める意見書 ●

国が推進する地域共生社会は、高齢者、障害者、子供、その他あらゆる人々が、住み慣れた地域において互いに支え合い、自らの希望に沿った暮らしを継続できる社会の実現を目指すものである。その実現に当たっては、介護保険サービス及び障害福祉サービスの安定的な提供が不可欠であり、地域で生活を支える事業所と福祉人材の存在は、地域共生社会を支える基盤そのものである。

現在、国においては公務員の地域手当制度の見直しに伴い、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬に係る地域区分の見直しを検討されている。地域区分は報酬単価を決定する重要な要素であり、その引下げは事業者の経営基盤や人材確保に直接的な影響を及ぼすことが懸念されている。

鎌倉市は首都圏に位置し、住宅費や地価をはじめとする生活コストが高い地域である一方、介護人材及び障害福祉人材の確保は年々厳しさを増している。こうした状況下で地域区分が引き下げられれば、事業者の収益悪化や人材流出を招き、介

護及び障害福祉サービスの提供体制の維持が困難となるおそれがある。

また、隣接する藤沢市との間に地域区分の差異が生じた場合、生活圈や雇用圏を同じくする地域でありながら、事業者の収入や人材確保の条件に格差が生じることとなる。結果として、事業所や福祉人材がより有利な条件の地域へ流出することも懸念され、鎌倉市におけるサービス基盤の弱体化につながりかねない。

そもそも地域共生社会とは、自治体の境界によって福祉の質や提供体制に差が生じることを容認する考え方ではない。住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整備することこそが、その理念の根幹である。地域区分の見直しによって福祉サービス基盤が損なわれることは、地域共生社会の実現に逆行するものであり、断じて看過することはできない。

よって、国におかれては、地域共生社会の理念及び地域における介護・障害福祉サービスの持続可能性を踏まえ、令和9

年度以降の地域区分の見直しに当たり、次の事項を実現するよう強く求める。

1 鎌倉市における介護保険サービス及び障害福祉サービス等の地域区分について、現行の報酬水準を実質的に維持すること。

2 地域区分の設定に当たっては、自治体の区域のみを機械的に基準とすることなく、地域の賃金水準、生活コスト、福祉人材の需給及び近隣自治体との生活圈・雇用圏の一体性を十分に考慮すること。

3 地域区分の変更により、事業所の経営及び福祉人材の確保に急激な影響が生じることのないよう、十分な経過措置その他の必要な支援措置を講ずるとともに、地域の実情を丁寧に反映すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年(2026年)9月30日

鎌 倉 市 議 会

決算特別委員会



一般会計決算等審査特別委員会委員名簿（議席順）

委員長	大石 香	（鎌倉前進の会）
副委員長	小野田 康成	（夢みらい鎌倉）
委 員	水上 武史	（公明党鎌倉市議会議員団）
	津野 てるひさ	（公正と法）
	岡崎 修也	（鎌倉前進の会）
	武野 裕子	（日本共産党鎌倉市議会議員団）
	中村 てつや	（立憲民主党鎌倉市議会議員団）
	志田 一宏	（自民党・無所属の会）

決算関係議案の提案

9月9日に開催された本会議において、一般会計決算等7議案が提案されました。

決算特別委員会の設置

議会は、9月9日の本会議において、各会派から選出され

た委員8名（委員名簿参照）からなる令和7年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会（以下「決算特別委員会」という。）を設置し、これら7議案の審査を付託しました。

決算特別委員会における審査

決算特別委員会では、9月9日、16日、17日、18日、24日、25日および29日の7日間にわたり、審査を行いました。

一般会計決算等7議案に関し、予算審査における議会からの指摘事項の反映状況や、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画実施計画の諸施策の進捗状況などを中心に、予算の適正な執行と、その行政効果について担当部課等への質疑を行うとともに、重要課題については市長に出席を求め、その見解をたしました。

その後、採決を行い、一般会計、大船駅東口市街地再開発事業特別会計、国民健康保険事業特別会計および公共用地先行取得事業特別会計の歳入歳出決算は、多数の賛成により認定しました。介護保険事業特別会計および後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算は、全会一致により認定しました。下水道事業会計剰余金の処分および決算は、全会一致で可決および認定しました。

本会議における委員長の審査結果報告

9月30日の本会議において、委員長から審査経過および結果が報告され、その中で、決算特別委員会で全会一致となった次の三つの観点から意見が付されました。

〇消防体制および地域防災体制の充実について

増加する救急需要や多様化する災害に的確に対応するため、人員の確保や資機材の充実などに努めるとともに、消防職員の労働環境改善のため、老朽化が進む消防署や出張所における浴室や仮眠室等の適切な管理および計画的な修繕

を早急に進めることを求める。

また、防災士の資格取得に係る補助制度の拡充に向けた検証を行うほか、大規模災害時においても消防分団が迅速に情報伝達を行えるよう、非常通信体制の構築を求める。

〇交通体系の維持および整備について

路線バスの廃止や減便により市民の日常生活に深刻な事態をもたらしていることから、定時運行の路線バスの維持に向けた取り組みを進めるとともに、地域特性に応じた新たな移動手段導入の方向性を早期に示すことを求める。

〇歳入について

市の付加価値向上と市民生活への還元のため、本市に適した持続可能な新たな財源創出策をスピード感を持って推進することを求める。

また、基金の確実かつ効率的な運用の観点から、安全性を確保しつつ、債券運用など運用利回り等により収益を増やす取り組みを求める。

討論・採決

委員長の審査結果報告後、5会派および1名の無所属議員から討論として決算議案に対する賛否の意見が表明され、引き続き裁決を行った結果、一般会計、国民健康保険事業特別会計および公共用地先行取得事業特別会計の歳入歳出決算は多数の賛成により認定しました。大船駅東口市街地再開発事業特別会計の歳入歳出決算については、可否同数となり、議長裁決により認定しました。介護保険事業特別会計および後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算は全会一致により認定しました。下水道事業会計剰余金の処分および決算は全会一致により可決および認定しました。

9月11日、29日、30日開催 審査した内容（議案1件、報告事項8件、陳情13件）

報告事項 令和8年度海水浴場の開設結果について

本年度は7月1日から8月31日までの62日間、材木座、由比ガ浜、腰越の3海水浴場を開設し、好天等により来場者は昨年度比約47％増の65万6020人となったとのことです。マナー向上条例の周知や啓発を行うも注意回数は増加したため、引き続き周知に努めるとのことです。安全対策等ではファミリービーチの開設や遊具等の無料貸出を行い、水難事故は0件だったとのことです。また、ブルーフラッグ認証やAⅠカメラ活用の報告もありました。

なお、委員からは以下の要望が出されました。

防犯体制の強化：置き引きや盗撮増加に対し、警察連携と警備員の声掛け強化を行うこと

利便性と安全の両立：海の家非利用者も安心できる貴重品預かり所の設置に向け協議すること

受動喫煙対策：喫煙所の配置見直しと禁煙ルール of 周知を徹底すること

市民益の還元：多額の市費投入を踏まえ、市民の健康増進等やりフレッシュに寄与する運営を行うこと

委員会では、報告事項について了承しました。

委員：吉岡（委員長）、大石（副委員長）、津野、児玉、森、日向

9月15日、29日、30日開催 審査した内容（議案10件、報告事項等8件、陳情3件）

議案第45号 鎌倉市職員等カスタマー・ハラスメント防止等に関する条例の制定について

令和7年6月に改正労働施策総合推進法が成立し、本年10月1日から全ての企業においてカスタマー・ハラスメント対策が義務化されました。

本市においても、令和7年度のコンプライアンス調査において、回答した職員の17.5％がここ1年間にカスタマー・ハラスメントと思われる威圧や人格否定を受けるといった言動を経験しており、深刻な実態が明らかになったとのことです。

このような状況を受け、カスタマー・ハラスメントに対し、職員個人の負担や現場の裁量に委ねる対応から、組織的な支援体制の下で、市として毅然とした対応および職員の安全を確保する仕組みを確立し、将来にわたり健全で円滑な市政運営と質の高い行政サービスを継続していくため、本条例を制定することです。

委員会では、本条例の対象に市職員のみならず、市が業務委託を行っている事業者の業務従事者も含めることが望ましいなどとの意見があり、採決を行った結果、多数の賛成により、原案を可決しました。

委員：重黒木（委員長）、岡田（副委員長）、加藤、中澤、松中、中村（聡）

観光厚生常任委員会

建設常任委員会

常任委員会

審査の一部を紹介します

総務常任委員会

教育こども常任委員会

9月14日、28日、29日開催 審査した内容（議案6件、報告事項7件、請願1件、陳情19件）

報告事項 歴史的風致維持向上計画第2期計画について

鎌倉市歴史的風致維持向上計画は、歴史まちづくり法に基づき、鎌倉の歴史的風致の維持・向上を目的として市が策定する計画で、本市では平成27年（2015年）12月に第1期計画を策定後、史跡や歴史的・文化的遺産の教育啓発活動の拠点整備、散策路の整備など、29の事業を推進してきており、第1期計画の期間が満了することから、第2期計画を策定するものです。

第2期計画では、第1期計画で位置づけた六つの歴史的風致を引き続き大切にしつつ、鎌倉の歴史や文化の特性をより丁寧に捉え直し、「鎌倉遊山にみる歴史的風致」を加えた七つの歴史的風致を対象としており、第1期の取り組みを継続するだけでなく、対象となる歴史的風致の見直し、重点区域の拡大、施策の体系化、建造物指定の充実を図ることで、鎌倉の歴史的風致を将来にわたって維持・向上させる内容としているとのことです。

委員会では、報告事項について了承しました。

※委員会審査終了後、9月30日付で、当計画が主務大臣の認定を受けた旨の発表がありました。

委員：岸本（委員長）、長嶋（副委員長）、上野、小野田、武野、池田

鎌倉市歴史的風致維持向上計画（第2期）

（第2期計画表紙）

（市HP）

9月10日、29日開催 審査した内容（議案3件、報告事項5件、陳情9件）

報告事項 令和9年度保育所等への入所状況について

令和9年4月1日を入所日とする保育所等への入所申し込みについて、受付方法や制度の変更が報告されました。

①入園の申し込みはオンラインが郵送で 昨年と同様に、申し込みはオンライン（e-kanagawa 電子申請）または郵送が基本となります。申し込み専用の特設窓口は設けません。

②入園後、職場復帰までの期間を延長 これまでは、保育所等に入園した翌月1日までに職場復帰する必要がありましたが、翌々月1日までに延長されます。これにより、子どもが保育所等に慣れるための「ならし保育」の期間を十分に確保できるようになります。

③育児休業中も、きょうだい児が保育園に通い続けられるように これまでは、出産に伴って育児休業を取得する場合、きょうだいが保育所等に通い続けるためには年齢などの条件がありました。令和9年度からは年齢制限を撤廃し、育児休業中もきょうだいが保育所等に通い続けられるようになります。

④市外在住で市内保育所等に勤務する保育士等の一次受付を可能に これまで、市外に住む方が鎌倉市内の保育所等に申し込む場合は、原則として二次受付からでした。

今後は、市内の保育施設などで働く保育士や幼稚園教諭については、一次受付から申し込めるようになります。保育士などの確保や、保育所等の受け入れ態勢の充実につなげることが目的です。また、保育を必要とする家庭が公平に入園できるよう、入園の優先順位を決める基準についても見直しが行われます。

委員会では、報告事項について了承しました。

委員：藤本（委員長）、細川（副委員長）、水上、岡崎、中村（て）、志田、前川

議決された主な議案等

※8月臨時会では、市長提出議案2件の採決を行いました。9月定例会では、市長提出議案28件、議員提出議案3件、請願1件、陳情17件、口頭による動議3件、「総務常任委員会に付託中の議案3件（議案第34号、議案第56号、議会議案第5号）の審査期限を11月30日まで延期することについて」の採決を行いました。※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 ●：反対
退：退席 欠：欠席

会 派 名					無 所 属 党 会・					鎌 倉 前 進 の 会				議 鎌 公 倉 員 市 明 議 団 会 党		夢 み ら い 鎌 倉		公 正 と 法		議 鎌 日 倉 員 市 共 議 産 団 会 党		議 鎌 立 倉 憲 員 市 民 議 主 団 会 党		無 所 属									
議 員 名					◎中村 聡一郎					◎大石 上野 加藤 岡崎 児玉 水上 岸本				◎小野田 康成		日向 慎吾		◎長嶋 竜弘		◎吉岡 和江		◎岡田 かずのり		◎中村 てつや		◎藤本 あさこ		◎細川 まなか		◎重黒木 優平		◎松中 健治	
主 議 案 等					議 決 結 果																												
9月定例会	条 例	第46号	鎌倉市宿泊税条例の制定について		可 決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	決 算	第38号	令和7年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算の認定について		認 定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第39号	令和7年度鎌倉都市計画事業大船駅東口市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認 定 (議長裁決)		●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	そ の 他	第56号	工事請負契約の締結について(鎌倉文学館本館の改修および増築等)		可 決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第57号	工事請負契約解除に係る和解について(鎌倉地域漁業支援施設防波堤工事の解除)		可 決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議 会 議 案	第 5 号	鎌倉市議会ハラスメント防止条例の一部を改正する条例の制定について		可 決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		第 6 号	介護保険サービス及び障害福祉サービスに係る地域区分の現行維持を求める意見書の提出について		可 決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請 願	第 1 号	京急バス鎌倉駅・鎌倉山路線の廃止に伴う地域公共交通の確保についての請願書		採 択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳 情	第68号	学校給食を恒常的に喫食しない児童への食費支援についての陳情		採 択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		第70号	学びの多様化学校「由比ガ浜中学校」の入学選考における不透明性及び公立中学校としての選抜の是正を求める陳情		採 択		○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※令和8年(2026年)8月20日開催の臨時会において、議長および副議長の選挙が行われ、日向慎吾議員が議長に、森功一議員が副議長に選出されました。
※令和8年(2026年)8月21日付で、重黒木優平議員が「公正と法」から退会し、無所属となりました。
※議案第39号「令和7年度鎌倉都市計画事業大船駅東口市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について」は、可否同数となったため、議長裁決により、認定されました。

8月臨時会

緊急に議会の議決を必要とする案件が生じたため、9人の議員から、地方自治法第101条第3項に基づく開議請求が行われました。その後、8月20日に臨時会が招集され、議長・副議長の辞職に伴う議長・副議長の選挙を行いました。

また、市長から、「鎌倉市監査委員の選任について」ほか1議案が提出されました。

選挙の結果

議長選挙
日向 慎吾議員 23票
中村 聡一郎議員 1票
無効票(白票) 1票

副議長選挙
森 功一議員 20票
長嶋 竜弘 議員 1票
前川 綾子 議員 1票
無効票(白票) 3票

選挙の結果、議長に日向慎吾議員、副議長に森功一議員が選出されました。

また、議会選出の監査委員として、上野学議員が選任されました。

そのほか、市長から提出された議案1件について、審議を行いました。

9月定例会

9月定例会では、市長から28件、議員から3件の議案が提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

9月定例会で審査した議案のうち、議案第34号、議案第56号および議会議案第5号については、付託先の総務常任委員会において継続審査となりましたが、9月30日開会の本会議において、「総務常任委員会に付託の議案3件（議案第34号、議案第56号、議会議案第5号）に本年9月30日22時45分までの審査期限を付する動議」が口頭により提出、可決されました。

その後、改めて総務常任委員会が開催され、審査期限を本年11月30日まで延長するよう求めることが委員会で確認されたことから、本会議を再開し、「総務常任委員会に付託中の議案3件の審査期限を11月30日まで延期することについて」が議題とされましたが、否決され、当該議案3件については、本会議で採決が行われました。

《議員提出議案》

中澤克之議員に対する問責決議について【議会議案第4号】

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

鎌倉市議会ハラスメント防止条例の一部を改正する条例の制定について【議会議案第5号】

カスタマー・ハラスメントに関する事項を追加するため、規定の整備を行うもので、公布の日から施行するものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

介護保険サービス及び障害福祉サービスに係る地域区分の現行維持を求める意見書の提出について【議会議案第6号】

(可決した意見書の内容は4面に掲載)

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

《市長提出議案》

条例関係議案

鎌倉市宿泊税条例の制定について【議案第46号】

宿泊を伴う滞在型観光の促進、観光と市民生活の調和および持続的な観光振興のための施策に要する費用に充てることを目的に、地方税法第5条第7項の規定に基づき、法定外目的税として宿泊税を課するため、必要な事項を定めようとするもので、総務大臣の同意を得た日から起算して2年を超えない範囲内において規則で定める日から施行しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

契約関係議案

物件供給契約の締結について【議案第34号】

鎌倉芸術館が平成5年に導入したグラランドピアノについて、設置から30年以上が経過し、音質の劣化が著しく、修繕による性能の回復も見込めない状況であることから、現行と同型のグラランドピアノおよび附属品を購入するための契約を随意契

約の方法により締結しようとするもので、消費税額および地方消費税額を含む契約金額は4423万1000円です。

なお、納入期限は、令和8年12月28日の予定とのことです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

工事請負契約の締結について【議案第56号】

鎌倉文学館本館改修および増築等工事についての請負契約を随意契約の方法により締結しようとするもので、消費税額および地方消費税額を含む契約金額は24億3188万円です。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

工事請負契約解除に係る和解について【議案第57号】

令和7年6月定例会における議決に基づき、業者と工事請負契約を締結した鎌倉地域漁業支援施設防波堤工事について、同年11月11日に追加の安全対策に関する設計変更による1063万7000円の増額を行う仮契約を締結したものの、同年12月定例会において契約変更に係る議案が閉会中継続審査となり、契約締結に至らなかったことから、本年1月臨時会において議案が撤回されました。

その後、受注者から4月23日付けで契約を解除する旨の通知があり、市からも受注者に対して5月21日付けで契約解除通知を送付しましたが、市および受注者が相互に原契約の解除の意思表示を撤回し、原契約を合意解除し、清算を行うことで協議が調ったことから、和解を図ろうとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

編集後記

議会広報委員会



(左から) 武野 裕子 副委員長、岸本 都美代 委員、小野田 康成 委員、津野 てるひさ 委員、加藤 千華 委員、志田 一宏 委員、中村 てつや 委員長

最後までお読みいただき、ありがとうございました。議員一人ひとりが、市民の皆さまから寄せられた声や思いを受け止めながら、質問や議案の審議、採決など、議会活動に取り組んでおります。そうした議会での議論の一端を、本紙を通じて少しでも身近に感じていただけたら幸いです。引き続き、市政や議会にご関心をお寄せいただき、ともに鎌倉の未来を考えていただければ嬉しく思います。

議会広報委員 加藤千華

●議会だより、議会ホームページに関するご意見はこちらへ

〒248-8686 (住所は省略できます) 議会広報委員会

E-mail:gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp